

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 6 月 25 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17H01168

研究課題名(和文) 低緯度大気海洋結合度変化による急激な気候変動に関する研究

研究課題名(英文) A study on rapid climate and low latitude atmosphere and ocean coupling.

研究代表者

横山 祐典 (Yokoyama, Yusuke)

東京大学・大気海洋研究所・教授

研究者番号：10359648

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,800,000円

研究成果の概要(和文)：現在進行中の気候変動と温暖化の将来について理解を深めるためには、気候モデルの精度向上が必須である。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)でも重要性が指摘されている。本研究では中緯度および低緯度の気候変動と高緯度の環境変化を高精度で復元することでそれらの関連性を明らかにした。環境復元を行う代替指標の精度の検証も行いつつ、複数を組み合わせて特に氷期以降の関連性について調べた。その結果、大気循環や海洋循環を通じ、グローバルな気候変動が伝播していたことが高精度に復元することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現在進行中のグローバルな気候変動の将来予測の高精度化にはモデルの動作特性の理解が重要である。将来の気候予測を高精度化するには、それらのモデルが過去の気候変動を正しく復元することができるかどうかの検証が重要なステップである。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)でも重要性が指摘されている。本研究では中緯度および低緯度の気候変動と高緯度の環境変化を高精度で復元し、大気や海洋循環を通じた関連性を明らかにした。この研究結果を気候モデルの制約条件として使うことで、将来予測の向上につなげることが可能である。

研究成果の概要(英文)：Ongoing global warming is a major concern for our society and it is an important to improve the climate model. To do so, predicting the climate in the past using climate models are recommended by IPCC and high resolution paleoclimate data is required to contribute this exercises. In this study we have conducted various approaches including improving dating methods using accelerator mass spectrometry, introducing statistical methods to treat dating points, improving environmental reconstructions using proxies and collecting water samples from cruise in Tasman Sea. Then applied those methodologies to various samples in different part of the world distributing high and low latitudes ocean and lakes. The results show close relations among them and revealed the mechanisms transmitting the signal via atmosphere and ocean.

研究分野：古気候学

キーワード：古気候

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)でも気候の変調要因として、太陽の変化の他におよそ 1,000 年で循環する海洋大循環の役割が大きいとされている(IPCC, 2013)。気候モデリングも含めて広く研究が行われてきたが、大規模北半球氷床消失のタイミングや規模、それがおよぼす気候変動についての知見は、多くの高品質データを集めて制度を上げる必要があるとされている。最終氷期以降から完新世の時期は、融解水の供給源の喪失とともに 2,000m の氷床高度からくる地形効果の違いや、大気の大気圧配置の変化などが引き起こされてきたとされ、低緯度と高緯度の関連性についての理解の深化が重要である。一方、近年の古気候データの蓄積により、安定と思われてきた完新世の気候も大きな気候変動があったことが報告されてきており、国際地質科学連合(IUGS)では、時代区分を新しく設けようとしている。実際、ヒマラヤネパールの標高 3,000m、深さ 160m の湖堆積物にも、4,000 年ほど前のモンスーンの弱化イベントが見つかり(Nakamura et al., 2016)、同時期に日本の南西諸島でサンゴ礁の成長停止イベントが起こっていた(Hamanaka et al., 2015)。また並行して、氷期終焉後の南極氷床の融解は現在まで継続しているわけではなく、北米氷床と異なり 4,000 年前に融解停止していないと観測値と矛盾が生じることも明らかになった(Yokoyama et al., 2012; 2016a)。現在、両極の氷床融解が確認されており、今後の温暖化の進行で中期完新世と同様な気候変化の可能性に対する警戒も高まっている。申請者は、今後の温暖化気候下で重要な南極氷床の挙動を制約する世界最大のロス棚氷の研究を行ったが、これまで 15,000 年とされてきた年代が実は誤りであり、約 4-5 千年前に大規模崩壊したことを示した(Yokoyama et al., 2016b)。これはロス海周辺の氷床高度の急低下期とも合致した(Jones et al., 2015)。また南極の近接する 2 本の氷床コアに環境の変調が捉えられており(図 3)、温暖化した海洋と大気の影響で氷棚の崩壊を招き、氷床融解をもたらしたことがわかった(Yokoyama et al., 2016b)。

ではなぜ氷棚の融解を招いたのか。海洋物理モデルから、南極海の温暖な中層水が大陸棚に侵入することが原因であることがわかってきた。それは氷床周辺の偏西風の変化によりもたらされることが示唆されている。またこの偏西風は低緯度の気候場とも密接に関連していることが明らかになった。実際現在の南半球の気候を支配している SAM (南方モード) とエルニーニョ南方振動(ENSO)が密接に関係していることがわかっている。二酸化炭素とメタンの上昇もこの時期に起こっており(Ruddiman 2007) 関連性の解明が重要であり、中低緯度の完新世気候現象の高精度時間分解能解析により、この低-高緯度現象の連関性について解明する必要がある。

### 2. 研究の目的

将来の温暖化気候下で危惧されている西太平洋低緯度の気候海洋結合度の変調、つまりウォーカー循環の変化が過去の急激な気候変動と関連していたかどうかということ明らかにするために、高時間分解能の古気候データの採取を行う。ウォーカー循環はハドレー循環を通しアジアモンスーンに影響を与え、全球的な気候変化を起こすとされている。北半球大規模氷床融解時期から中期完新世の気候移行期に焦点を当てて研究を行う。メカニズムの解明が将来の気候変動予測に貢献すると考えられ、確度の高い年代決定技術を開発し現在と同様の気候背景場の変調期の詳細を調べることで、将来の気候変動を理解する重要な境界条件を提供できる一助とする。

### 3. 研究の方法

研究では、中緯度および高緯度そして低緯度の高精度データを採取することで、氷床変動やインド太平洋暖水塊(IPWP)など低緯度域の海洋変動が ENSO などの変調との関係について調べる。また、風系変動により南極氷床が変動するといわれている仮説を念頭におき、グローバルな気候変動と南極氷床の融解タイミングについても年代測定法について改良しながら確度をあげる。また、水温や大気への海洋からの二酸化炭素放出のタイミングの改名を行うべく、サンゴや有孔虫の炭酸カルシウム試料を調べる。さらに堆積速度の速い試料を用いた高時間分解能環境復元を行う。陸域変動を復元するべく湖沼堆積物や樹木年輪を用いて分析を行い低緯度と高緯度の気候を通じた連関性を復元した。研究は、申請者らのグループで持つ分析化学および統計手法を用いながら、国内外のネットワークを用いながら試料採取および現存試料の分析を行った。主にインド洋、南シナ海、南極周辺、バルト海のほかインド洋やオーストラリアなどの地点のサンプルを分析し、高精度年代分析を用いてそれぞれの関連性を調べた。タスマン海のサンプルについては、共同研究者が首席研究者を務める航海(2017年4月~5月ドイツの調査船 RV SONNE)に乗船し、ニュージーランドからオーストラリアダーウィンへの航海にて採取し、得られた試料を用いて分析を行い、南極周辺で形成される深層水の動態について調べた。

### 4. 研究成果

低緯度から高緯度までの気候復元を行うために、高精度の年代測定を行う必要がある。まずは加速器質量分析装置に微量試料の前処理システムの開発を行い(Yamane et al., 2019) 炭酸塩試料を得ることが困難な南極海周辺の試料についての特定有機化合物を使った年代測定を行う

手法の改良を行った (Yokoyama et al., 2019a)。特定有機化合物の抽出法に関しても、これまで行ってきたガスクロマトグラフィーを使ったものではなく、分担者の大河内のラボと共同で開発を進めた液体クロマトグラフィーを用いた分析手法についての開発を行い論文として報告した (Ohkouchi et al., 2017, Yamaguchi et al., 2017)。得られた試料についての年代分析結果については、複雑な年代測定結果が得られた場合にも、統計的な取り扱いを施すことで定量的な議論ができるようになるべく、分担者の Obrochta と共同で新しい解析手法を提唱した (Obrochta et al., 2017)。

グローバルな氷床量変動は、過去の平均的な気候状態を得ることが可能であることから重要な指標であり、その変動のタイミングは、今後の温暖化に伴う海水準変動とも関連する。オーストラリアのグレートバリアリーフの化石サンゴを使った研究から、1000 点にもおよぶ年代測定点を用いて初めて詳細な氷期最盛期の氷床拡大と縮小の速度を決定することに成功し Nature 誌に掲載された (Yokoyama et al., 2018)。同様の変動は、地殻変動の影響が極めて小さい北西オーストラリア沖の大陸棚から得られた試料からも再現することができ、2 段階の氷床拡大と極めて速い氷床成長の描像を明らかにした (Ishiwa et al., 2019)。最終氷期最盛期 (LGM) のみならずその一つ前の氷期の最盛期の氷床変化についても深海堆積物の酸素同位体比を用いて研究を行い、LGM と異なる氷床の分布が起こっていたことが解明された (Rohling et al., 2017)。LGM 以降の急激な融氷期についてもハワイ沖の沈水サンゴにも記録されており、融解速度の高精度化を行うことができた (Sanborn et al., 2017; 2020)。これらの研究結果を俯瞰したものをレビュー論文としてまとめ、国際誌に発表した (Yokoyama et al., 2019b)。この氷床変動については、氷床に近い地域での試料を用いた研究を実施する必要があるが、南極氷床については、ロス海の大陸棚や西南極の海底堆積物の珪藻や同位体分析を行うことで、温暖化した海水による氷床底の融解が主な原因であることが明らかになった (Pronthro et al., 2020; Menzoni et al., 2017)。このような変動は類似の東南極地域でも観測された (Crosta et al., 2020; White et al., 2019)。海底に着底していたと考えられている北極氷床も、同様なメカニズムで融解したことを明らかにすることができ、先のハワイで観測された融氷期の急激な氷床融解のタイミングで北極氷床が大規模にとけたことを明らかにし、Nature Geoscience に発表した (Brendryen et al., 2020)。バルト海の堆積物の研究では氷床融解に伴う海水の化学成分の変化についても明らかにした (Dijkstra et al., 2018)。南極氷床の融解はこれまで 7,000 年前には終了していた可能性が指摘されていたが、少なくとも 4,000 年前まで継続していたこともスリランカとモルジブのデータから明らかにした (Yokoyama et al., 2019c)。

これら新しく明らかになった高緯度環境変化のタイミングと規模との関連性について中緯度および低緯度の変化を理解するために、水温復元のプロキシの高精度化を目的にしたサンゴと有孔虫の骨格の微量金属変化と DNA 情報との関連性について調べ (Bell et al., 2018, Not et al., 2018; Inoue et al., 2018)。骨格中のストロンチウムの温度変化復元の指標としての有効性を明らかにした。また、ドイツ船を用いたタスマン海の採水試料について放射性炭素分析を行い、その流路が複雑である珊瑚海周辺の中層、深層水の経路を明らかにでき、西赤道太平洋のグレートバリアリーフ沖の海洋環境に与える影響を議論することができた (Servettaz et al., 2020)。グレートバリアリーフのサンゴ礁の成長についてはサンゴ (Webster et al., 2018; Humblet et al., 2019) 有孔虫 (Yagioka et al., 2019; Fujita et al., 2020) 微生物によって生成される炭酸カルシウム沈積物 (Braga et al., 2018; Patterson et al., 2020) と海洋環境の関係について細かく議論できるに至った。サンゴによる海洋環境復元は南西諸島喜界島 (Kawakubo et al., 2017) 小笠原諸島やタヒチ (Kubota et al., 2017) フィリピン (Hirabayashi et al., 2017abc; 2019) さらには大西洋のブラジル沿岸 (Dechnik et al., 2019) でも行うことができた。

陸域環境復元を行うための高時間分解可能な環境復元は樹木年輪 (Sakashita et al., 2017ab; 2018) や湖沼や沿岸域の堆積物 (Yamamoto et al., 2020; Ishiwa et al., 2019; Lewis et al., 2020; Ghazoui et al., 2019) などでも復元でき、それらが北大西洋振動やエルニーニョ南方振動などと関連した変動をしていることが明らかになった。また、地球の公転軌道要素変化に伴う長期間の太陽の日射との表層水温の関連性や水循環変動について、インド洋や南シナ海、西赤道太平洋からの試料によって明らかにすることができた (Lin et al., 2017; 2018; Li et al., 2018)。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計84件（うち査読付論文 84件 / うち国際共著 53件 / うちオープンアクセス 69件）

1. 著者名 Brendryen Jo, Hafliðason Hafliði, Yokoyama Yusuke, Haaga Kristian Agasoster, Hannisdal Bjarte	4. 巻 13
2. 論文標題 Eurasian Ice Sheet collapse was a major source of Meltwater Pulse 1A 14,600 years ago	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Geoscience	6. 最初と最後の頁 363 ~ 368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41561-020-0567-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Lewis Richard J., Tibby John, Arnold Lee J., Barr Cameron, Marshall Jonathan, McGregor Glenn, Gadd Patricia, Yokoyama Yusuke	4. 巻 234
2. 論文標題 Insights into subtropical Australian aridity from Welsby Lagoon, north Stradbroke Island, over the past 80,000 years	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 106262 ~ 106262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2020.106262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Patterson Madhavi A., Webster Jody M., Hutchings Pat, Braga Juan-Carlos, Humblet Marc, Yokoyama Yusuke	4. 巻 542
2. 論文標題 Bioerosion traces in the Great Barrier Reef over the past 10 to 30 kyr	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology	6. 最初と最後の頁 109503 ~ 109503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.palaeo.2019.109503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Sanborn Kelsey L., Webster Jody M., Webb Gregory E., Braga Juan Carlos, Humblet Marc, Nothdurft Luke, Patterson Madhavi A., Dechnik Belinda, Warner Susan, Graham Trevor, Murphy Richard J., Yokoyama Yusuke, Obrochta Stephen P., Zhao Jian-xin, Salas-Saavedra Marcos	4. 巻 397
2. 論文標題 A new model of Holocene reef initiation and growth in response to sea-level rise on the Southern Great Barrier Reef	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sedimentary Geology	6. 最初と最後の頁 105556 ~ 105556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.sedgeo.2019.105556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Prothro Lindsay O., Majewski Wojciech, Yokoyama Yusuke, Simkins Lauren M., Anderson John B., Yamane Masako, Miyairi Yosuke, Ohkouchi Naohiko	4. 巻 230
2. 論文標題 Timing and pathways of East Antarctic Ice Sheet retreat	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 106166 ~ 106166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2020.106166	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kajita Hiroto, Harada Naomi, Yokoyama Yusuke, Sato Miyako, Ogawa Nanako, Miyairi Yosuke, Sawada Chikako, Suzuki Atsushi, Kawahata Hodaka	4. 巻 230
2. 論文標題 High time-resolution alkenone paleotemperature variations in Tokyo Bay during the Meghalayan: Implications for cold climates and social unrest in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 106160 ~ 106160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2019.106160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsukamoto Sumiko, Takeuchi Taro, Tani Atsushi, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke	4. 巻 3
2. 論文標題 ESR and Radiocarbon Dating of Gut Strings from Early Plucked Instruments	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Methods and Protocols	6. 最初と最後の頁 13 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/mps3010013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishizawa Takashi, Goto Kazuhisa, Yokoyama Yusuke, Goff James	4. 巻 200
2. 論文標題 Dating tsunami deposits: Present knowledge and challenges	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Earth-Science Reviews	6. 最初と最後の頁 102971 ~ 102971
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.earscirev.2019.102971	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujita Kazuhiko, Yagioka Noriko, Nakada Choko, Kan Hironobu, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Webster Jody M.	4. 巻 48
2. 論文標題 Reef-flat and back-reef development in the Great Barrier Reef caused by rapid sea-level fall during the Last Glacial Maximum (30-17 ka)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geology	6. 最初と最後の頁 39 ~ 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1130/G46792.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Shinya, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Suga Hisami, Ogawa Nanako, Ohkouchi Naohiko	4. 巻 62
2. 論文標題 Compound-Specific Radiocarbon Analysis of Organic Compounds from Mount Fuji Proximal Lake (Lake Kawaguchi) Sediment, Central Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 439 ~ 451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/RDC.2019.158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Servettaz Aymeric PM, Yokoyama Yusuke, Hirabayashi Shoko, Kienast Markus, Miyairi Yosuke, Mohtadi Mahyar	4. 巻 61
2. 論文標題 Dissolved inorganic Radiocarbon content of the Western Coral sea: Implications for Intermediate and Deep Water Circulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 1685 ~ 1696
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/RDC.2019.122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Boehnert, S. Ruiz Soto, B. R. S. Fox, Y. Yokoyama, D. Hebbeln	4. 巻 40
2. 論文標題 Historic development of heavy metal contamination into the Firth of Thames, New Zealand	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geo-Marine Letters	6. 最初と最後の頁 149-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Behrens Bethany, Miyairi Yosuke, Sproson Adam D., Yamane Masako, Yokoyama Yusuke	4. 巻 34
2. 論文標題 Meltwater discharge during the Holocene from the Wilkes subglacial basin revealed by beryllium isotope analysis of marine sediments	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Quaternary Science	6. 最初と最後の頁 603 ~ 608
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jqs.3148	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuyo Naoto, Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke, Igarashi Yusuke	4. 巻 61
2. 論文標題 AMS Dating of Potentially the Oldest Wooden Sculptures in Japan from a Shinto Shrine in Akita	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 1221 ~ 1228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/rdc.2019.31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kubota Kaoru, Yokoyama Yusuke, Ishikawa Tsuyoshi, Sagawa Takuya, Ikehara Minoru, Yamazaki Toshitsugu	4. 巻 9
2. 論文標題 Equatorial Pacific seawater pCO <sub>2</sub> variability since the last glacial period	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 13814
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-49739-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke, Aze Takahiro, Yamane Masako, Sawada Chikako, Ando Yuka, de Natris Maaiké, Hirabayashi Shoko, Ishiwa Takeshige, Sato Naomi, Fukuyo Naoto	4. 巻 455
2. 論文標題 A single stage Accelerator Mass Spectrometry at the Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 311 ~ 316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2019.01.055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamane Masako, Yokoyama Yusuke, Hirabayashi Shoko, Miyairi Yosuke, Ohkouchi Naohiko, Aze Takahiro	4. 巻 455
2. 論文標題 Small- to ultra-small-scale radiocarbon measurements using newly installed single-stage AMS at the University of Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 238 ~ 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2019.01.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi Shoko, Yokoyama Yusuke, Suzuki Atsushi, Esat Tezer, Miyairi Yosuke, Aze Takahiro, Siringan Fernando, Maeda Yasuo	4. 巻 455
2. 論文標題 Local marine reservoir age variability at Luzon Strait in the South China Sea during the Holocene	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 171 ~ 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2018.12.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Yamane Masako, Nakamura Atsunori, Miyairi Yosuke, Horiuchi Kazuho, Aze Takahiro, Matsuzaki Hiroyuki, Shirahama Yoshiki, Ando Yuka	4. 巻 455
2. 論文標題 In-situ and meteoric 10Be and 26Al measurements: Improved preparation and application at the University of Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 260 ~ 264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2019.01.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ota Kosuke, Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke, Hayakawa Jun, Satoh Naomi, Fukuda Hideki, Tanaka Kiyoshi	4. 巻 August 15
2. 論文標題 NORTHEAST PACIFIC SEAWATER RADIOCARBON RECORDED IN ABALONE SHELLS OBTAINED FROM OTSUCHI BAY, JAPAN	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 1 ~ 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/RDC.2019.95	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dechnik Belinda, Bastos Alex C., Vieira Laura S., Webster Jody M., Fallon Stewart, Yokoyama Yusuke, Nothdurft Luke, Sanborn Kelsey, Batista Joao, Moura Rodrigo, Amado-Filho Gilberto	4. 巻 218
2. 論文標題 Holocene reef growth in the tropical southwestern Atlantic: Evidence for sea level and climate instability	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 365 ~ 377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2019.06.039	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Naomi, Fukuda Hideki, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Nagata Toshi	4. 巻 75
2. 論文標題 Position-dependent radiocarbon content of the macroalgae <i>Undaria pinnatifida</i> as an indicator of oceanographic conditions during algal growth	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Oceanography	6. 最初と最後の頁 349 ~ 358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10872-019-00508-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nomaki H, Uejima Y, Ogawa NO, Yamane M, Watanabe HK, Senokuchi R, Bernhard JM, Kitahashi T, Miyairi Y, Yokoyama Y, Ohkouchi N, Shimanaga M	4. 巻 622
2. 論文標題 Nutritional sources of meio- and macrofauna at hydrothermal vents and adjacent areas: natural-abundance radiocarbon and stable isotope analyses	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Marine Ecology Progress Series	6. 最初と最後の頁 49 ~ 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3354/meps13053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishizawa Takashi, Goto Kazuhisa, Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke	4. 巻 412
2. 論文標題 Non-destructive analyses to determine appropriate stratigraphic level for dating of tsunami deposits	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Marine Geology	6. 最初と最後の頁 19 ~ 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.margeo.2019.02.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yokoyama Yusuke	4. 巻 58
2. 論文標題 High-resolution radiocarbon, cosmogenic radionuclides and Uranium series dating for paleoclimate and paleoenvironment studies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Quaternary Research (Daiyonki-Kenkyu)	6. 最初と最後の頁 265 ~ 286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4116/jaqua.58.265	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ghazoui Z., Bertrand S., Vanneste K., Yokoyama Y., Nomade J., Gajurel A. P., van der Beek P. A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Potentially large post-1505 AD earthquakes in western Nepal revealed by a lake sediment record	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-10093-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Passos T. U., Webster J. M., Braga J. C., Voelker D., Renema W., Beaman R. J., Nothdurft L. D., Hinestroza G., Clarke S., Yokoyama Y., Barcellos R. L., Kinsela M. A., Nothdurft L. N., Hubble T.	4. 巻 66
2. 論文標題 Paleoshorelines and lowstand sedimentation on subtropical shelves: a case study from the Fraser Shelf, Australia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Australian Journal of Earth Sciences	6. 最初と最後の頁 547 ~ 565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/08120099.2018.1558417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishiwa Takeshige, Yokoyama Yusuke, Okuno Jun'ichi, Obrochta Stephen, Uehara Katsuto, Ikehara Minoru, Miyairi Yosuke	4. 巻 9
2. 論文標題 A sea-level plateau preceding the Marine Isotope Stage 2 minima revealed by Australian sediments	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 6449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-42573-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lamair Laura, Hubert Ferrari Aurelia, El Ouahabi Meriam, Yamamoto Shinya, Schmidt Sabine, Vander Auwera Jacqueline, Lepoint Gilles, Boes Evelien, Fujiwara Osamu, Yokoyama Yusuke, De Batist Marc, Heyvaert Vanessa M. A.	4. 巻 20
2. 論文標題 Late Holocene Changes in Erosion Patterns in a Lacustrine Environment: Landscape Stabilization by Volcanic Activity Versus Human Activity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems	6. 最初と最後の頁 1720 ~ 1733
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018GC008067	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shirahama Yoshiki, Miyairi Yosuke, He Honglin, Fu Bihong, Echigo Tomoo, Yokoyama Yusuke, Ikeda Yasutaka	4. 巻 329
2. 論文標題 Late Quaternary evolution of the Kumkol Basin at the northeastern margin of the Tibetan Plateau revealed by tectonic geomorphology and the analysis of in situ cosmogenic nuclides	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geomorphology	6. 最初と最後の頁 224 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geomorph.2018.12.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Purcell Anthony, Ishiwa Takeshige	4. 巻 32
2. 論文標題 Gauging Quaternary Sea Level Changes Through Scientific Ocean Drilling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oceanography	6. 最初と最後の頁 64 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5670/oceanog.2019.121	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Humblet M., Potts D.C., Webster J.M., Braga J.C., Iryu Y., Yokoyama Y., Bourillot R., Seard C., Droxler A., Fujita K., Gischler E., Kan H.	4. 巻 174
2. 論文標題 Late glacial to deglacial variation of coralgall assemblages in the Great Barrier Reef, Australia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Global and Planetary Change	6. 最初と最後の頁 70 ~ 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gloplacha.2018.12.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Hirabayashi Shoko, Goto Kazuhisa, Okuno Jun'ichi, Sproson Adam D., Haraguchi Tsuyoshi, Ratnayake Nalin, Miyairi Yosuke	4. 巻 206
2. 論文標題 Holocene Indian Ocean sea level, Antarctic melting history and past Tsunami deposits inferred using sea level reconstructions from the Sri Lankan, Southeastern Indian and Maldivian coasts	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 150 ~ 161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2018.11.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Ishiwa Takeshige, Yokoyama Yusuke, Reuning Lars, McHugh Cecilia M., De Vleeschouwer David, Gallagher Stephen J.	4. 巻 6
2. 論文標題 Australian Summer Monsoon variability in the past 14,000 years revealed by IODP Expedition 356 sediments	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Progress in Earth and Planetary Science	6. 最初と最後の頁 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40645-019-0262-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Wyatt Alex S.J., Matsumoto Rui, Chikaraishi Yoshito, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Sato Keiichi, Ohkouchi Nao, Nagata Toshi	4. 巻 89
2. 論文標題 Enhancing insights into foraging specialization in the world's largest fish using a multi-tissue, multi-isotope approach	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ecological Monographs	6. 最初と最後の頁 e01339 ~ e01339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ecm.1339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Lamair L., Hubert-Ferrari A., Yamamoto S., Fujiwara O., Yokoyama Y., Garrett E., De Batist M., Heyvaert V.M.A., Boes Evelien, Nakamura Atsunori, Obrochta Stephen, Shishikura Masanobu, Miyairi Yosuke, Bruckner Helmut, Ono Eisuke, Riedesel Svenja, De Rycker Koen, Sato Yoshiki, Walstra Jan	4. 巻 514
2. 論文標題 Use of high-resolution seismic reflection data for paleogeographical reconstruction of shallow Lake Yamanaka (Fuji Five Lakes, Japan)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology	6. 最初と最後の頁 233 ~ 250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.palaeo.2018.09.028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yagioka Noriko, Nakada Choko, Fujita Kazuhiko, Kan Hironobu, Yokoyama Yusuke, Webster Jody M.	4. 巻 514
2. 論文標題 Depositional environments beneath the shelf-edge slopes of the Great Barrier Reef, inferred from foraminiferal assemblages: IODP Expedition 325	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology	6. 最初と最後の頁 386 ~ 397
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.palaeo.2018.10.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Braga Juan C., Puga-Bernabeu, Heindel Katrin, Patterson Madhavi A., Birgel Daniel, Peckmann Jörn, Sánchez-Almazo Isabel M., Webster Jody M., Yokoyama Yusuke, Riding Robert	4. 巻 514
2. 論文標題 Microbialites in Last Glacial Maximum and deglacial reefs of the Great Barrier Reef (IODP Expedition 325, NE Australia)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.palaeo.2018.10.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 White Duanne A., Fink David, Post Alexandra L., Simon Krista, Galton-Fenzi Ben, Foster Simon, Fujioka Toshiyuki, Jeromson Matthew R., Blaxell Marcello, Yokoyama Yusuke	4. 巻 505
2. 論文標題 Beryllium isotope signatures of ice shelves and sub-ice shelf circulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	6. 最初と最後の頁 86 ~ 95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2018.10.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Obrochta S.P., Yokoyama Y., Yoshimoto M., Yamamoto S., Miyairi Y., Nagano G., Nakamura A., Tsunematsu K., Lamair L., Hubert-Ferrari A., Loughheed B.C., Hokanishi A., Yasuda A., Heyvaert V.M.A., De Batist M., Fujiwara O.	4. 巻 200
2. 論文標題 Mt. Fuji Holocene eruption history reconstructed from proximal lake sediments and high-density radiocarbon dating	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 395 ~ 405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2018.09.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishikawa Naoto F., Itahashi Yu, Blattmann Thomas M., Takano Yoshinori, Ogawa Nanako O., Yamane Masako, Yokoyama Yusuke, Nagata Toshi, Yoneda Minoru, Haghypour Negar, Eglinton Timothy I., Ohkouchi Naohiko	4. 巻 90
2. 論文標題 Improved Method for Isolation and Purification of Underivatized Amino Acids for Radiocarbon Analysis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Analytical Chemistry	6. 最初と最後の頁 12035 ~ 12041
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.analchem.8b02693	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Camuera Jon, Jimenez-Moreno Gonzalo, Ramos-Roman Maria J., Garcia-Alix Antonio, Toney Jaime L., Anderson R. Scott, Jimenez-Espejo Francisco, Kaufman Darrell, Bright Jordon, Webster Cole, Yanes Yurena, Carrion Jose S., Ohkouchi Naohiko, Suga Hisami, Yamame Masako, Yokoyama Yusuke, Martinez-Ruiz Francisca	4. 巻 198
2. 論文標題 Orbital-scale environmental and climatic changes recorded in a new 200,000-year-long multiproxy sedimentary record from Padul, southern Iberian Peninsula	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 91 ~ 114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2018.08.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li Ziye, Chen Min-Te, Lin Da-Cheng, Shi Xuefa, Liu Shengfa, Wang Houjie, Yokoyama Yusuke, Shen Chuan-Chou, Mii Horng-Sheng, Troa Rainer Arief, Zuraida Rina, Triarso Eko, Hendrizan Marfasran	4. 巻 490
2. 論文標題 Evidence of solar insolation and internal forcing of sea surface temperature changes in the eastern tropical Indian Ocean during the Holocene	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1 ~ 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2018.04.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takano Yoshinori, Chikaraishi Yoshito, Imachi Hiroyuki, Miyairi Yosuke, Ogawa Nanako O., Kaneko Masanori, Yokoyama Yusuke, Kruger Martin, Ohkouchi Naohiko	4. 巻 8
2. 論文標題 Insight into anaerobic methanotrophy from 13C/12C- amino acids and 14C/12C-ANME cells in seafloor microbial ecology	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-31004-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakashita Wataru, Yokoyama Yusuke, Miyahara Hiroko, Aze Takahiro, Obrochta Stephen P., Ohyama Motonari, Yonenobu Hitoshi	4. 巻 19
2. 論文標題 Assessment of Northeastern Japan Tree-Ring Oxygen Isotopes for Reconstructing Early Summer Hydroclimate and Spring Arctic Oscillation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems	6. 最初と最後の頁 3520 ~ 3528
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018GC007634	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kitamura A., Ito M., Sakai S., Yokoyama Y., Miyairi Y.	4. 巻 403
2. 論文標題 Identification of tsunami deposits using a combination of radiometric dating and oxygen-isotope profiles of articulated bivalves	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Marine Geology	6. 最初と最後の頁 57 ~ 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.margeo.2018.04.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Mayuri, Nakamura Takashi, Tanaka Yasuaki, Suzuki Atsushi, Yokoyama Yusuke, Kawahata Hodaka, Sakai Kazuhiko, Gussone Nikolaus	4. 巻 235
2. 論文標題 A simple role of coral-algal symbiosis in coral calcification based on multiple geochemical tracers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geochimica et Cosmochimica Acta	6. 最初と最後の頁 76 ~ 88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gca.2018.05.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Esat Tezer M., Thompson William G., Thomas Alexander L., Webster Jody M., Miyairi Yosuke, Sawada Chikako, Aze Takahiro, Matsuzaki Hiroyuki, Okuno Jun'ichi, Fallon Stewart, Braga Juan-Carlos, Humblet Marc, Iryu Yasufumi, Potts Donald C., Fujita Kazuhiko, Suzuki Atsushi, Kan Hironobu	4. 巻 559
2. 論文標題 Rapid glaciation and a two-step sea level plunge into the Last Glacial Maximum	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 603 ~ 607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-018-0335-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li Ziye, Chen Min-Te, Lin Da-Cheng, Wang Houjie, Shi Xuefa, Liu Shengfa, Yokoyama Yusuke, Yamamoto Masanobu, Shen Chuan-Chou, Mii Horng-Sheng, Troa Rainer Arief, Zuraida Rina, Triarso Eko, Hendrizan Marfasran	4. 巻 482
2. 論文標題 Holocene surface hydroclimate changes in the Indo-Pacific warm pool	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2018.04.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Pace A., Bourillot R., Bouton A., Vennin E., Braissant O., Dupraz C., Duteil T., Bundeleva I., Patrier P., Galaup S., Yokoyama Y., Franceschi M., Virgone A., Visscher P. T.	4. 巻 16
2. 論文標題 Formation of stromatolite lamina at the interface of oxygenic-anoxygenic photosynthesis	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Geobiology	6. 最初と最後の頁 378~398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/gbi.12281	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 嵯峨山 積、近藤 玲介、重野 聖之、横田 彰宏、宮入 陽介、百原 新、富士田 裕子、矢野 梓水、横山 祐典	4. 巻 72
2. 論文標題 北海道北部猿払村の沖積層コアの珪藻分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地球科学	6. 最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15080/agcjchikyukagaku.72.1_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ITO Mayuko, MORI Ai, HONGO Chuki, ASAMI Ryuji, MIYAIRI Yosuke, YOKOYAMA Yusuke, FUJITA Kazuhiko	4. 巻 20
2. 論文標題 Production age, transport and depositional processes of beach sediments around Sesoko Island (Okinawa, Japan), based on abrasion grades and radiocarbon ages of empty tests of <i>Baculogypsina sphaerulata</i> (Foraminifera)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese Coral Reef Society	6. 最初と最後の頁 1~20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3755/jcrs.20.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 矢野 梓水, 百原 新, 近藤 玲介, 宮入 陽介, 重野 聖之, 紀藤 典夫, 井上 京, 横田 彰宏, 嵯峨山 積, 横地 穰, 横山 祐典, 富士田 裕子	4. 巻 27
2. 論文標題 大型植物化石群から復元した北海道北部猿払川湿原群の発達過程	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 17-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Garrett Ed, Fujiwara Osamu, Riedesel Svenja, Walstra Jan, Deforce Koen, Yokoyama Yusuke, Schmidt Sabine, Bruckner Helmut, De Batist Marc, Heyvaert Vanessa MA, and the QuakeRecNankai Team	4. 巻 28
2. 論文標題 Historical Nankai-Suruga megathrust earthquakes recorded by tsunami and terrestrial mass movement deposits on the Shirasuka coastal lowlands, Shizuoka Prefecture, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Holocene	6. 最初と最後の頁 968 ~ 983
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0959683617752844	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Webster Jody M., Braga Juan Carlos, Humblet Marc, Potts Donald C., Iryu Yasufumi, Yokoyama Yusuke, Fujita Kazuhiko, Bourillot Raphael, Esat Tezer M., Fallon Stewart, Thompson William G., Thomas Alexander L., Kan Hironobu, McGregor Helen V., Hinestrosa Gustavo, Obrochta Stephen P., Loughheed Bryan C.	4. 巻 11
2. 論文標題 Response of the Great Barrier Reef to sea-level and environmental changes over the past 30,000 years	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Geoscience	6. 最初と最後の頁 426 ~ 432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41561-018-0127-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bell Tomoko, Iguchi Akira, Suzuki Atsushi, Seki Arisa, Yokoyama Yusuke	4. 巻 52
2. 論文標題 Testing possible relationships between Acropora digitifera genes, seawater chemistry and skeletal elements	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GEOCHEMICAL JOURNAL	6. 最初と最後の頁 263 ~ 272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2343/geochemj.2.0511	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Shinya, Uchiyama Takashi, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke	4. 巻 119
2. 論文標題 Volcanic and environmental influences of Mt. Fuji on the $^{13}\text{C}$ of terrestrially-derived n-alkanoic acids in sediment from Lake Yamanaka, central Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Organic Geochemistry	6. 最初と最後の頁 50 ~ 58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.orggeochem.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miklavic Blaz, Yokoyama Yusuke, Urata Kensaku, Miyairi Yosuke, Kan Hironobu	4. 巻 471
2. 論文標題 Holocene relative sea level history from phreatic overgrowths on speleothems (POS) on Minami Daito Island, Northern Philippine Sea	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 359 ~ 368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.09.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawahata Hodaka, Yokoyama Yusuke, Kuroda Junichiro, Iryu Yasufumi, Kano Akihiro	4. 巻 124
2. 論文標題 Topics on carbonate relevant topics by IODP	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Journal of the Geological Society of Japan	6. 最初と最後の頁 35 ~ 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5575/geosoc.2017.0081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi Shoko, Yokoyama Yusuke, Suzuki Atsushi, Miyairi Yosuke, Aze Takahiro	4. 巻 32
2. 論文標題 Short-term fluctuations in regional radiocarbon reservoir age recorded in coral skeletons from the Ryukyu Islands in the north-western Pacific	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Quaternary Science	6. 最初と最後の頁 1 ~ 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jqs.2923	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Obrochta S. P., Andren T., Fazekas S. Z., Loughheed B. C., Snowball I., Yokoyama Y., Miyairi Y., Kondo R., Kotilainen A. T., Hyttinen O., Fehr A.	4. 巻 18
2. 論文標題 The undatables: Quantifying uncertainty in a highly expanded Late Glacial-Holocene sediment sequence recovered from the deepest Baltic Sea basin-IODP Site M0063	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geochemistry. Geophysics. Geosystems	6. 最初と最後の頁 858 ~ 871
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2016GC006697	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Dutton A., Rubin K., McLean N., Bowring J., Bard E., Edwards R.L., Henderson G.M., Reid M.R., Richards D.A., Sims K.W.W., Walker J.D., Yokoyama Y.	4. 巻 39
2. 論文標題 Data reporting standards for publication of U-series data for geochronology and timescale assessment in the earth sciences	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary Geochronology	6. 最初と最後の頁 142 ~ 149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quageo.2017.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ota Yuki, Kawahata Hodaka, Murayama Masafumi, Inoue Mayuri, Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke, Aung Thura, Hossain H. M. Zakir, Suzuki Atsushi, Kitamura Akihisa, Moe Kyaw Thu	4. 巻 32
2. 論文標題 Effects of intensification of the Indian Summer Monsoon on northern Andaman Sea sediments during the past 700 years	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Quaternary Science	6. 最初と最後の頁 528 ~ 539
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jqs.2947	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Dijkstra Nikki, Quintana Krupinski Nadine B., Yamane Masako, Obrochta Stephen P., Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Slomp Caroline P.	4. 巻 41
2. 論文標題 Holocene Refreshening and Reoxygenation of a Bothnian Sea Estuary Led to Enhanced Phosphorus Burial	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Estuaries and Coasts	6. 最初と最後の頁 139 ~ 157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12237-017-0262-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hong Yuanyuan, Yasuhara Moriaki, Iwatani Hokuto, Seto Koji, Yokoyama Yusuke, Yoshioka Kaoru, Mamo Briony	4. 巻 132
2. 論文標題 Freshwater reservoir construction by damming a marine inlet in Hong Kong: Paleoecological evidence of local community change	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Marine Micropaleontology	6. 最初と最後の頁 53 ~ 59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.marmicro.2017.04.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirabayashi S., Yokoyama Y., Suzuki A., Miyairi Y., Aze T.	4. 巻 18
2. 論文標題 Multidecadal oceanographic changes in the western Pacific detected through high-resolution bomb-derived radiocarbon measurements on corals	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geochemistry, Geophysics, Geosystems	6. 最初と最後の頁 1608 ~ 1617
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017GC006854	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Minzoni Rebecca Totten, Majewski Wojciech, Anderson John B, Yokoyama Yusuke, Fernandez Rodrigo, Jakobsson Martin	4. 巻 27
2. 論文標題 Oceanographic influences on the stability of the Cosgrove Ice Shelf, Antarctica	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Holocene	6. 最初と最後の頁 1645 ~ 1658
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0959683617702226	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishizawa Takashi, Goto Kazuhisa, Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke, Sawada Chikako, Nishimura Yuichi, Sugawara Daisuke	4. 巻 41
2. 論文標題 Sequential radiocarbon measurement of bulk peat for high-precision dating of tsunami deposits	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary Geochronology	6. 最初と最後の頁 202 ~ 210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quageo.2017.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Komori Junki, Shishikura Masanobu, Ando Ryosuke, Yokoyama Yusuke, Miyairi Yosuke	4. 巻 471
2. 論文標題 History of the great Kanto earthquakes inferred from the ages of Holocene marine terraces revealed by a comprehensive drilling survey	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	6. 最初と最後の頁 74 ~ 84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2017.04.044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bell Tomoko, Nishida Kozue, Ishikawa Kei, Suzuki Atsushi, Nakamura Takashi, Sakai Kazuhiko, Ohno Yoshikazu, Iguchi Akira, Yokoyama Yusuke	4. 巻 484
2. 論文標題 Temperature-controlled culture experiments with primary polyps of coral <i>Acropora digitifera</i> : Calcification rate variations and skeletal Sr/Ca, Mg/Ca, and Na/Ca ratios	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Palaeogeography. Palaeoclimatology. Palaeoecology	6. 最初と最後の頁 129 ~ 135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.palaeo.2017.03.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Larsen Thomas, Yokoyama Yusuke, Fernandes Ricardo	4. 巻 9
2. 論文標題 Radiocarbon in ecology: Insights and perspectives from aquatic and terrestrial studies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Methods in Ecology and Evolution	6. 最初と最後の頁 181 ~ 190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/2041-210X.12851	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubota Kaoru, Yokoyama Yusuke, Ishikawa Tsuyoshi, Suzuki Atsushi, Ishii Masao	4. 巻 7
2. 論文標題 Rapid decline in pH of coral calcification fluid due to incorporation of anthropogenic CO <sub>2</sub>	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 1 ~ 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-07680-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirabayashi Shoko, Yokoyama Yusuke, Suzuki Atsushi, Miyairi Yosuke, Aze Takahiro, Siringan Fernando, Maeda Yasuo	4. 巻 4
2. 論文標題 Radiocarbon variability recorded in coral skeletons from the northwest of Luzon Island, Philippines	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geoscience Letters	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40562-017-0081-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamaguchi Yasuhiko T., Chikaraishi Yoshito, Takano Yoshinori, Ogawa Nanako O., Imachi Hiroyuki, Yokoyama Yusuke, Ohkouchi Naohiko	4. 巻 111
2. 論文標題 Fractionation of nitrogen isotopes during amino acid metabolism in heterotrophic and chemolithoautotrophic microbes across Eukarya, Bacteria, and Archaea: Effects of nitrogen sources and metabolic pathways	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Organic Geochemistry	6. 最初と最後の頁 101~112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.orggeochem.2017.04.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura Akihisa, Imai Takafumi, Mitsui Yuta, Ito Mami, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Tokuda Yuki	4. 巻 4
2. 論文標題 Late Holocene uplift of the Izu Islands on the northern Zenisu Ridge off Central Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Progress in Earth and Planetary Science	6. 最初と最後の頁 1~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40645-017-0146-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakashita Wataru, Miyahara Hiroko, Yokoyama Yusuke, Aze Takahiro, Nakatsuka Takeshi, Hoshino Yasuharu, Ohyama Motonari, Yonenobu Hitoshi, Takemura Keiji	4. 巻 455
2. 論文標題 Hydroclimate reconstruction in central Japan over the past four centuries from tree-ring cellulose 18 0	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1~7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.06.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura Akihisa, Imai Takafumi, Miyairi Yosuke, Yokoyama Yusuke, Iryu Yasufumi	4. 巻 456
2. 論文標題 Radiocarbon dating of coastal boulders from Kouzushima and Miyake islands off Tokyo Metropolitan Area, Japan: Implications for coastal hazard risk	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 28 ~ 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.05.040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakuramoto Yukihiko, Yamazaki Toshitsugu, Kimoto Katsunori, Miyairi Yosuke, Kuroda Junichiro, Yokoyama Yusuke, Matsuzaki Hiroyuki	4. 巻 122
2. 論文標題 A Geomagnetic Paleointensity Record of 0.6 to 3.2 Ma From Sediments in the Western Equatorial Pacific and Remanent Magnetization Lock-In Depth	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research-Solid Earth	6. 最初と最後の頁 7525 ~ 7543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017JB014450	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sanborn Kelsey L., Webster Jody M., Yokoyama Yusuke, Dutton Andrea, Braga Juan C., Clague David A., Paduan Jennifer B., Wagner Daniel, Rooney John J., Hansen John R.	4. 巻 175
2. 論文標題 New evidence of Hawaiian coral reef drowning in response to meltwater pulse-1A	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 60 ~ 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2017.08.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rohling Eelco J., Hibbert Fiona D., Williams Felicity H., Grant Katharine M., Marino Gianluca, Foster Gavin L., Hennekam Rick, de Lange Gert J., Roberts Andrew P., Yu Jimin, Webster Jody M., Yokoyama Yusuke	4. 巻 176
2. 論文標題 Differences between the last two glacial maxima and implications for ice-sheet, 18 0, and sea-level reconstructions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 1 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2017.09.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohkouchi Naohiko, Chikaraishi Yoshito, Close Hilary G., Fry Brian, Larsen Thomas, Madigan Daniel J., McCarthy Matthew D., McMahon Kelton W., Nagata Toshi, Naito Yuichi I., Ogawa Nanako O., Popp Brian N., Steffan Shawn, Takano Yoshinori, Tayasu Ichiro, Wyatt Alex S.J., Yamaguchi Yasuhiko T., Yokoyama Yusuke	4. 巻 113
2. 論文標題 Advances in the application of amino acid nitrogen isotopic analysis in ecological and biogeochemical studies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Organic Geochemistry	6. 最初と最後の頁 150 ~ 174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.orggeochem.2017.07.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Lin Da-Cheng, Chen Min-Te, Yamamoto Masanobu, Yokoyama Yusuke	4. 巻 459
2. 論文標題 Hydrographic variability in the northern South China Sea over the past 45,000 years: New insights based on temperature reconstructions by U k' 37 and TEX H 86 proxies from a marine sediment core (MD972146)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1 ~ 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.09.029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawakubo Y., Alibert C., Yokoyama Y.	4. 巻 32
2. 論文標題 A Reconstruction of Subtropical Western North Pacific SST Variability Back to 1578, Based on a Porites Coral Sr/Ca Record from the Northern Ryukyus, Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Paleoceanography	6. 最初と最後の頁 1352 ~ 1370
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2017PA003203	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakashita Wataru, Miyahara Hiroko, Yokoyama Yusuke, Aze Takahiro, Obrochta Stephen P., Nakatsuka Takeshi	4. 巻 4
2. 論文標題 Relationship between the Northern Pacific Gyre Oscillation and tree-ring cellulose oxygen isotopes in northeastern Japan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geoscience Letters	6. 最初と最後の頁 1 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40562-017-0095-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計134件（うち招待講演 15件／うち国際学会 54件）

1. 発表者名 Naoto Fukuyo, Hiroki Oda, Geoffrey Clark, Yusuke Yokoyama
2. 発表標題 Magnetic mapping of a speleothem from Tongatapu, Kingdom of Tonga with a scanning SQUID microscopy and its magnetic mineralogy
3. 学会等名 2019 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yusuke Yokoyama, Shoko Hirabayashi, Kazuhisa Goto, Jun Okuno, Adam David Sproson, Tsuyoshi Haraguchi, Nalin Ratnayake, Yosuke Miyairi
2. 発表標題 Holocene Antarctic Ice sheet melting history and inundations of coasts due to Tsunamis inferred from sea level observations observed in the Northern Indian Ocean
3. 学会等名 2019 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Jody Webster, Yusuke Yokoyama, Juan Carlos Braga, Marc Humblet, Scientific Team of IODP. Expedition 325
2. 発表標題 The response of coral reef systems to sea level change: lessons from the drowned reefs
3. 学会等名 2019 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomoko Bell, Akira Iguchi, Yusuke Yokoyama
2. 発表標題 Evaluation of Paleotemperature Proxy Using Coral Genome Biology
3. 学会等名 2019 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Kelsey L. Sanborn, Jody Webster, Gregory E. Webb, Juan Carlos Braga, Marc Humblet, Dirk Erler, Marcos Salas-Saavedra, Luke D. Nothdurft, Madhavi A. Patterson, Belinda Dechnik, Susan Warner, Trevor Graham, Richard J. Murphy, Yusuke Yokoyama, Stephen Obrochta, Jian-Xin Zhao
2. 発表標題	Integrating coral reef paleoecological and paleoenvironmental proxies to reconstruct the Holocene initiation of the Great Barrier Reef
3. 学会等名	2019 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Stephen Obrochta, Wataru Miwa, Kotaro Shirai, Kaoru Kubota, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Takumi Asada, Jody Webster, Mahyar Mohtadi, Albert Case Hine
2. 発表標題	Mid Pleistocene Age for the Great Barrier Reef
3. 学会等名	2019 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Yusuke Yokoyama
2. 発表標題	Missing ice problem: a mystery of Antarctic ice sheet related to its volume during the last glacial maximum
3. 学会等名	3rd Int'l Conference on Quaternary and Future Earth: Harmonious Coexistence of ocean and Humans (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Naoto Fukuyo, Geoffrey Clark, Anthony Purcell, Phillip Parton, Yusuke Yokoyama
2. 発表標題	Paleosealevel and paleoenvironmental reconstruction using the local marine reservoir effect and geophysical modeling in Tongatapu, Kingdom of Tonga
3. 学会等名	3rd Int'l Conference on Quaternary and Future Earth: Harmonious Coexistence of ocean and Humans (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 Yusuke Yokoyama
2. 発表標題 Antarctic ice sheet stability detected from mid latitude sea level records
3. 学会等名 2019 Conference on Pan-Pacific Anthropocene (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shoko Hirabayashi, Yusuke Yokoyama, Atsushi Suzuki, Yosuke Miyairi, Takahiro Aze, Fernando Siringan, Yasuo Maeda
2. 発表標題 Westrn Pacific variability detected through high-resolution bomb-derived radiocarbon measurements on corals
3. 学会等名 2019 Conference on Pan-Pacific Anthropocene (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Bethany Behrens, Yosuke Miyairi, Adam D. Sproson, Masako Yamane, Yusuke Yokoyama
2. 発表標題 Beryllium-10 as a partial constraint on ice sheet meltwater discharge from Wilkes Basin, East Antarctica
3. 学会等名 2019 Conference on Pan-Pacific Anthropocene (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Adam D. Sproson, David Selby, Katsuhiko Suzuki, Tomohiro Oda, Junichiro Kuroda, Reishi Takashima, Azumi Kuroyanagi
2. 発表標題 Anthropogenic osmium in macroalgae from Tokyo Bay reveals regional-scale contamination from catalytic convertors
3. 学会等名 2019 Conference on Pan-Pacific Anthropocene (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Naoto Fukuyo, Yusuke Yokoyama, Geoffrey Clark, Yosuke Miyairi
2 . 発表標題 Late Holocene sea level and environment changes at Tongatapu island in the South Pacific reconstructed from radiocarbon dating of shellfish
3 . 学会等名 2019 Conference on Pan-Pacific Anthropocene ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kosuke Ota, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Jun Hayakawa, Naomi Satoh, Hideki Fukuda, Kiyoshi Tanaka
2 . 発表標題 Radiocarbon fluctuations induced by intrusions of cold water recorded in Abalone shells in the coastal area of Northern Pacific Otsuchi Bay, Japan
3 . 学会等名 2019 Conference on Pan-Pacific Anthropocene ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 A Urai, Y Takano, H Imachi, S Ishii, Y Matsui, M Ogawara, Y Miyairi, NO Ogawa, T Yoshimura, F Inagaki, Y Yokoyama, HD Park, D Murai, K Kawano, N Ohkouchi
2 . 発表標題 Deep Methagenesis and Iodine-Rich Aquifer: Insight from Organic Geochemical Approach
3 . 学会等名 29th International Meeting on Organic Geochemistry ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Adam David Sproson, Yusuke Yokoyama, Yoshinori Takano, Yosuke Miyairi, Takahiro AZE
2 . 発表標題 Holocene Antarctic subglacial weathering and ice-sheet history reconstructed using the $^{10}\text{Be}/^{9}\text{Be}$ ratios of lake Maruwan Oike sediments
3 . 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 横山 祐典, エサット テザー, トンプソン ウィリアム, トーマス アレクサンダー, ウェブスター ジョディ, 宮入 陽介, 沢田 近子, 阿瀬 貴博, 松崎 浩之, 奥野 淳一
2. 発表標題 最終氷期最盛期とそれに続く急激な氷床成長および崩壊と海水準変動
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中西 諒, 岡村 聡, 嵯峨山 積, 横山 祐典, 宮入 陽介
2. 発表標題 北海道太平洋沿岸日高南部における海水準変動の影響を受けた津波・洪水履歴
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石澤 晃史, 後藤 和久, 横山 祐典, 宮入 陽介
2. 発表標題 Non-destructive analyzes of sediments to discern tsunami-related mud cap and overlying muds to improve age determination of tsunami deposits
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福與 直人, 小田 啓邦, 横山 祐典, Geoffrey Clark, 山本 裕二
2. 発表標題 Magnetic mapping of a speleothem from the southern Pacific with a scanning SQUID microscopy and its magnetic mineralogy
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 太田 耕輔, 横山 祐典, 宮入 陽介, 早川 淳, 佐藤 菜央美, 福田 秀樹, 田中 潔
2. 発表標題 North Pacific seawater radiocarbon recorded in abalone shells obtained from Otsuchi Bay, Japan
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂下 渉, 横山 祐典, 宮原 ひろ子, 阿瀬 貴博, オブラクタ スティーブン, 大山 幹成, 米延 仁志
2. 発表標題 Assessment of Northeastern Japan Tree-Ring Oxygen Isotopes for Reconstructing Early Summer Hydroclimate and Spring Arctic Oscillation
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 手塚 寛, 後藤 和久, 石澤 堯史, 菅原 大助, 横山 祐典, 宮入 陽介
2. 発表標題 石巻平野における歴史津波堆積物の年代制約
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 須田 好, 阿瀬 貴博, 宮入 陽介, 横山 祐典, 松井 洋平, 上田 修裕, 齋藤 拓也, 佐藤 友彦, 澤木 佑介, 中井 亮佑, 玉木 秀幸, 高橋 浩, 森川 徳敏
2. 発表標題 14CH4および希ガス同位体を用いた白馬八方蛇紋岩温泉におけるメタンの起源の制約
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐野 亘, 平林 頌子, 横山 祐典, 宮入 陽介, 藤田 和彦, 菅 浩伸
2. 発表標題 Lauren Toth, Richard Aronson, Reconstructing sedimentation process of lagoon sediment in the Eastern Kume Island, Ryukyus
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅 浩伸, 堀 信行, 中井 達郎, 横山 祐典, 藤田 和彦, 長谷川 均, 中島 洋典, 浦田 健作, 鈴木 淳, 長尾 正之, 後藤 和久
2. 発表標題 浅海底地形学：新たな分野の開拓と展望
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮島 利宏, 諏訪 鍊平, Bejasa Keith Limuel, Rollon Rene, San Diego-McGlone Maria Lourdes, Jaraula Caroline, Siringan Fernando
2. 発表標題 マングローブ二次林堆積物における有機炭素の残留と集積に対する地形的要因の効果
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Bethany Behrens, Yosuke Miyairi, Adam Sproson, Masako Yamane, Yusuke Yokoyama
2. 発表標題 Meltwater discharge from Wilkes Basin, East Antarctica at around 4.2 ka revealed from Beryllium-10 analysis of marine sediments
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井 和香, 兵頭 政幸, 加藤 茂弘, 宮入 陽介, 山口 夢香, 横山 祐典
2. 発表標題 Centennial-scale bioproductivity changes during the earliest Middle-Pleistocene
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 マクドナルド セーラ, タイラー ジョナサン, オブラクタ スティーブン, 横山 祐典, 宮入 陽介, 太田 耕輔
2. 発表標題 An 8,000-year climate record from Lake Motosu, Japan: Implications for the East Asian Monsoon
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本 真也, 宮入 陽介, 横山 祐典, 菅 寿美, 小川 奈々子, 大河内 直彦
2. 発表標題 Compound-specific radiocarbon analysis of lipid biomarkers in surface sediment from Lake Kawaguchi, central Japan
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 福與 直人, Anthony Purcell, Geoffrey Clark, Phillip Parton, 横山 祐典, 宮入 陽介
2. 発表標題 Holocene sea-level and paleoenvironmental reconstruction using radiocarbon local marine reservoir age and geophysical modeling in Tongatapu, Kingdom of Tonga
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮入 陽介, 近藤 玲介, 横田 彰宏, 重野 聖之, 富士田 裕子, 横山 祐典
2. 発表標題 泥炭ウイグルマッチングを用いた高精度14C年代決定
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横山 祐典, 宮入 陽介, ウェブスター ジョーディー, ハイน์ アルバート
2. 発表標題 Towards reconstructing environmental conditions related to Australian Great Barrier Reef initiation
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田 稜介, 後藤 和久, 井龍 康文, 石澤 堯史, 横山 祐典, 宮入 陽介
2. 発表標題 サンゴ質津波堆積物を用いた年代推定法の検討
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平林 頌子, 横山 祐典, 鈴木 淳, Tezer Esat, 宮入 陽介, 阿瀬 貴博, Fernando Siringan, 前田 保夫, 菅 浩伸
2. 発表標題 ルソン海峡および琉球列島における完新世のローカル海洋リザーバー年代変動
3. 学会等名 2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	梶田 展人, 原田 尚美, 佐藤 都, 小川 奈々, 沢田 近子, 宮入 陽介, 宇都宮 正志, 鈴木 淳, 川幡 穂高
2. 発表標題	東京湾海洋堆積物コアを用いた後期完新世における古水温変動の復元
3. 学会等名	2019年度地球惑星連合大会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	横山 祐典, 平林 頌子, 後藤 和久, 奥野 淳一, スプローソン アダム, 原口 強, ラトナヤケ ナリン, 宮入 陽介
2. 発表標題	スリランカ沿岸部に記録された7,000年間のインド洋大津波の痕跡と完新世海水準
3. 学会等名	日本第四紀学会2019年大会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	福與 直人, 横山 祐典, 宮入 陽介, 五十嵐 祐介
2. 発表標題	秋田県男鹿市赤神社所蔵の木造狛犬・獅子像の放射性炭素年代測定
3. 学会等名	日本第四紀学会2019年大会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	太田 耕輔, 横山 祐典, 宮入 陽介, 山本 真也
2. 発表標題	富士五湖における表層水中溶存無機炭素の放射性炭素年代の月毎変動と炭素リザーバー効果
3. 学会等名	日本第四紀学会2019年大会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 藤井 和香, 兵頭 政幸, 加藤 茂弘, 宮入 陽介, 山口 夢香, 横山 祐典
2. 発表標題 中期更新世最初期の100年スケールの気候変化 太陽活動との関連性
3. 学会等名 日本第四紀学会2019年大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮入 陽介, 近藤 玲介, 横田 彰宏, 富士田 裕子, 横山 祐典
2. 発表標題 泥炭ウイグルマッチングを用いた高精度14C火山噴火年代決定の可能性の検討
3. 学会等名 日本第四紀学会2019年大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 畑中 美沙希, 横山 祐典, Geoffrey Clark, 宮島 利宏, 小川 奈々子, 宮入 陽介, 大河内 直彦
2. 発表標題 半化石骨安定同位体分析による後期完新世マダガスカルにおける絶滅大型動物の古生態・古気候復元
3. 学会等名 2019年度日本地球化学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本 真也, 西澤 文勝, 吉本 充宏, 宮入 陽介, 横山 祐典, 菅 寿美, 大河内 直彦
2. 発表標題 化合物レベル14C年代法による富士山北麓・河口湖堆積物コア中の火山噴出物の年代推定
3. 学会等名 2019年度日本地球化学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 秋澤 紀克, 三宅 亮, 土山 明, 横山 祐典, 阿瀬 貴博
2. 発表標題 中央海嶺におけるマントルまで達する熱水の化学特性: オマーンオフィオライト産ディオプシダイトの例
3. 学会等名 2019年度日本地球化学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 浦井 暖史, 高野 淑識, 松下 慎, 井町 寛之, 松井 洋平, 宮入 陽介, 岩田 拓記, 朴 虎東, 横山 祐典, 大河内 直彦
2. 発表標題 表層水圏と深部地下圏のメタンサイクル: 有機地球化学的・微生物生態学的手法による断層湖の研究(予察)
3. 学会等名 2019年度日本地球化学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yusuke Yokoyama
2. 発表標題 Quantifying the Value of Earth Science Information by Identifying How It Changes Societal Outcomes eLightning
3. 学会等名 2018 American Geophysical Union Fall Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YusukeYokoyama
2. 発表標題 Measuring the Societal Value of My Research: A Value of Information Approach to Quantifying the Socioeconomic Benefits of Earth Scienc
3. 学会等名 2018 American Geophysical Union Fall Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YusukeYokoyama, Jody Weste
2. 発表標題 The last 30, 00 years of sea level and paleoenvironment changes recorded in submerged coral reef terraces in the Great Barrier Reef
3. 学会等名 2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Adam David Sproson, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi
2. 発表標題 Holocene Antarctic subglacial weathering and ice-sheet history reconstructed using the authigenic $^{10}\text{Be}/^{9}\text{Be}$ ratios of sediments from lake Maruwan Oike, Antarctica
3. 学会等名 2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YusukeYokoyama, Tee M est, Jody Wester, Junishiro Okuno, Takehigelshiwa, YosukeMiyairi, Ale Thomas
2. 発表標題 Rapid sea level changes during the period into and out of the Last Glacial Maximum
3. 学会等名 2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Laura Renolds, Aleande Simms, Thomas K Rockwel, YusukeYokoyama, and Aleandra Hangstefe
2. 発表標題 Holocene Hydroclimate in Coastal Southern California
3. 学会等名 2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Takehi Nakagawa, Richard Staff, Christophe Bronk Ramse, CharlotteBryant, Gordon Schlolaut, Achim Braue, Michae H Marshall, Hery F. Lamb, Pave eTarasov, Tsuyoshi Haraguchi, Katsuya Gotanda, Takayuki Omori, Hitoshi Yoneobu, YusukeYokoyama, Ryuji Tada and Suigesu 2006 Projet Members
2. 発表標題	Onsets of the Holocene and the Lateglacial Interstadial Have Different Mechanisms - Revealed by Robust Synchronisation of Suigetsu, NGRIP, Hulu and Other High-Resolution Archives.
3. 学会等名	2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Lindsay O Prothro, Wojcieh Majeski, Yusuke Yokoyama, Laure Mille Simkins, John B Andeson, Masako Yamane and Naohiko Ohkouchi
2. 発表標題	Duration of the maximum extent of the East Antarctic Ice Sheet grounding line in the Ross Sea, Antarctica, and subsequent complex retreat
3. 学会等名	2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Hideki Maeoku, Tomoo ehigo, Yuichi Nameaya, YusukeYokoyama, YosukeMiyairi
2. 発表標題	Cosmogenic nuclide dating to determine timings of huge tsunami using tsunami boulders derived from a dike of quartz porphyry in Hashigui-iwa facing the Nankai Trough, acific side of central Japan
3. 学会等名	2018 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Yokoyama, Y.
2. 発表標題	Past Geomagnetic field reconstructions using cosmogenic radio nuclides in the Antarctic ice core
3. 学会等名	Heavy Ion Accelerator Symposium 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 Yokoyama, Y.
2. 発表標題 Climate change and anthropogenic environmental signals captured in high-resolution coral skeletal geochemistry
3. 学会等名 Workshop on Understanding the Pan-Pacific Anthropocene (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokoyama, Y., Webster J., Fujita K., Kan H., and Exp 325 Scientists
2. 発表標題 The Great Barrier Reef Environmental Change during the last 30,000 years
3. 学会等名 Japan Australia Sangosho Geomorphology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Yagasaki, Juichiro Ashi, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Shinichi Kuramoto
2. 発表標題 Correction model for complex deep marine environments at cold seep vents off Tokai, Japan: Seawater DIC acquisition by Calpyptogena sp. bivalves
3. 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aymeric Servettaz, Yusuke Yokoyama, Shoko Hirabayashi, Markus Kienast, Yosuke Miyairi, Mahyar Mothadi
2. 発表標題 Origin of water masses in the western Coral Sea based on radiocarbon
3. 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shoko Hirabayashi, Yusuke Yokoyama, Atsushi Suzuki, Yosuke Miyairi, Takahiro Aze, Fernando Siringan, Yasuo Maeda
2 . 発表標題 Seasonal bomb-14C variability recorded in the coral from the northwest part of the Luzon Island, Philippines
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kaoru Kubota, Kotaro Shirai, Naoko Sugihara-Murakami, Koji Seike, Kazushige Tanabe, Masayo Minami, Toshio Nakamura
2 . 発表標題 North Pacific bomb-14C record reconstructed from long-lived bivalve shells and its application
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kosuke Ota, Yusuke Yokoyama, osuke Miyairi, Jun Hayakawa, Naomi Sato, Hideki Fukuda, Toshi Nagata
2 . 発表標題 North Pacific surface water radiocarbon recorded in abalone obtained from Otsuchi bay, Japan
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Naoto Fukuyo, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Yusuke Igarashi
2 . 発表標題 AMS Dating of wooden sculptures from a Shinto shrine in Akita, Japan
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yusuke Yokoyama, Kentaro Tawara, Atsushi Suzui, Yosuke Miyairi, Mayuri Inoue, Hironobu Kan, Shoko Hirabayashi
2 . 発表標題 Indian Ocean late Holocene oceanography reconstructed from fossil corals from Mal? Island, Maldives
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Fujio Kumon, Jonathan J. Tyler, Richard Staff, Yusuke Yokoyama, MiFalseru Ikehara, Akira Hayashida, Danielle McLean, Takeshi Nakagawa, ? Suigetsu Varves 2006 Project Members9
2 . 発表標題 Millennial scale variability in the East Asian monsoon: a common signal amongst lakes Suigetsu, Nojiri and Biwa, Japan
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yosuke Miyairi, Reisuke Kondo, Hiroko Fujita, Yusuke Yokoyama
2 . 発表標題 Sequential radiocarbon measurement on peaty sediments to reconstruct high precision age model of marsh deposits
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Narumi Ishizawa, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Takahiro Aze, Shoko Hirabayashi
2 . 発表標題 Large dead carbon fraction detected from stalagmites obtained from the Kyusendo cave in Japan
3 . 学会等名 The 23rd International Radiocarbon Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokoyama, Y.
2. 発表標題 Timing is the Key to Understand What Lies Beneath: Recent Developments in Geochronology Untangle Mysteries in Fields from Past Climate Changes to Geohazards
3. 学会等名 15th Annual Meeting, Asia Oceania Geoscience Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokoyama, Y.
2. 発表標題 Rapid Changes of Antarctic ice sheets during the last 30,000 year
3. 学会等名 2018 JOHN FEST (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横山 祐典
2. 発表標題 津波堆積物の年代測定について
3. 学会等名 津波の研究についてのワークショップ?(東北大学災害科学国際研究所)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横山 祐典
2. 発表標題 シングルステージ加速器質量分析装置
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤 真裕子, 清島 璃乃, 菅 浩伸, 宮入 陽介, 横山 祐典, 藤田 和彦
2. 発表標題 堆積物特性と放射性炭素年代に基づく久米島ハテナハマ周辺サンゴ礁堆積物の生産・運搬・堆積
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 福與 直人, 横山 祐典, Clark Geoffrey, 窪田 薫, 宮入 陽介, 杉原 奈央子, 白井 厚太郎, 樋口 富彦, 宮島 利宏
2. 発表標題 二枚貝を用いた完新世トンガ王国における古環境復元
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横山 祐典, 斎藤 文紀, 北里 洋, 原田 尚美, 阿部 彩子, 多田 隆治, 入野 智久, 川村 賢二, 塚 武
2. 発表標題 PAGES: 将来の気候・環境変動理解のための近過去復元研究
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中田 正夫, 奥野 淳一, 横山 祐典, 入江 芳矢, ランベック クルツ, パーセル アンソニー
2. 発表標題 Viscosity structure of Earth's mantle inferred from glacial isostatic adjustment
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	高柳 栄子, 若木 重行, Irwan Irwan, 関根 直紀, De Vleeschouwer David, Groeneveld Jeroen, Bogus Kara, 石輪 健樹, 佐藤 時幸, Mamo L. Briony, He Yuxin, McHugh M. Cecilia, Reuning Lars, Renema Willem, Christensen A. Beth, Henderiks Jorijntje, Gallagher J. Stephen, Fulthorpe S. Craig, 石川 剛志, 横山 祐典, 井龍 康文
2. 発表標題	Papers?History of the Leeuwin Current during the last 5 million years:?Evidence from seawater Neodymium isotope variation
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2018年大会 (招待講演)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Adam David Sproson, Philip Pogge von Strandmann, David Selby, Timothy Lenton, Emilia Jarochovska, Jiri Fryda, Jindrich Hladil, David Loydell, Ladislav Slavik
2. 発表標題	Orbitally paced Silurian glaciations invoke negative weathering feedbacks that reverse?global cooling
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Evelien Boes, Osamu Fujiwara, usuke Yokoyama, Sabine Schmidt, Svenja Riedesel, Atsunori Nakamura, Vanessa M.A. Heyvaert, Helmut Br?ckner, Marc De Batis
2. 発表標題	A long record of extreme wave events in coastal Lake Hamana, Japan
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Aurelia Dominique Hubert-Ferrari, Laura Lamair, Shinya Yamamoto, Osamu Fujiwara, Yusuke Yokoyama, Stephen Obrachta, osuke Miyairu, Atsunori Nakamura, Marc De Batist, Vanessa M.A Heyvaert, QuakeRecNankai Team
2. 発表標題	Natural hazards recorded in the Fuji Five Lakes: earthquake shaking, typhoon induced?flooding and volcanic eruptions
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 三輪 亘, オブラクタ スティーブン, 白井 厚太郎, 横山 祐典, 宮入 陽介, ウェブスター ジョーディー, ハイン アルバート
2. 発表標題 堆積相解析によるグレートバリアリーフの形成年代特定
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 オブラクタ スティーブン, Bryan Lockheed, Raimund Muscheler, 横山 祐典, 宮入陽介
2. 発表標題 An age-Depth modeling method for improved treatment of uncertainty
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桜庭 真依子, 角野 浩史, 松崎 浩之, 楠野 葉瑠香, 横山 祐典, 宮入 陽介, 大場 武, 西野佳奈
2. 発表標題 マルチ同位体トレーサーを利用した福島県沿岸地域における地下水流動系の解明 3H-3He年代測定法を中心とした検討
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石沢 成美, 横山 祐典, 宮入 陽介, 阿瀬 貴博, 平林 頌子
2. 発表標題 UTh年代・放射性炭素年代測定法を用いた熊本県球泉洞の石筍の年代決定
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮入 陽介, 近藤 玲介, 富士田 裕子, 横山 祐典
2. 発表標題 泥炭試料を用いた湿原堆積物の高精度放射性炭素年代決定
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西田 梢, Yue Chin Chew, 横山 祐典, 鈴木 淳, 宮入 陽介, 平林 頌子, 林 正裕, 野尻 幸宏
2. 発表標題 Radio- and stable carbon isotopic responses in experimentally-cultured bivalves for the understanding of acidification effect on bivalve nutrient uptake and biomineralization
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡 顕, 阿部 彩, 横山 祐典, 川村 賢二, 羽角 博康
2. 発表標題 氷期大西洋深層循環の熱的閾値への南大洋の役割
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横山 祐典, 平瀬 祥太郎, シンティアー リー, 岩崎 涉
2. 発表標題 The Pliocene-Pleistocene transition had dual effects on North American migratory birds speciation
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中澤 文華, 芦 寿一郎, 大村 亜希子, 宮入 陽介, 横山 祐典
2. 発表標題 Estimation of the sea floor events by radiocarbon dating of total organic carbon contained in marine sediment
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石輪 健樹, 横山 祐典, McHugh Cecilia, Reuning Lars, Gallagher Stephen
2. 発表標題 The Holocene Australian Summer Monsoon variability revealed by IODP Expedition 356 sediments
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Bethany Behrens, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Adam David Sproson
2. 発表標題 Cosmogenic beryllium isotope analysis of ice sheet dynamics, Ad?lie Basin, EastAntarctica
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Philipp Kempf, Osamu Fujiwara, Yosuke Miyairi, Yusuke Yokoyama, Atsunori Nakamura, Ed Garrett, Marc De Batist, Vanessa Mary An Heyvaert, QuakeRecNankai team
2. 発表標題 Geological evidence for extreme wave events on the Sagara coastal lowland facing theT?kai segment of the Nankai-Suruga Trough
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Ed Garrett, Osamu Fujiwara, Svenja Riedesel, Jan Walstra, Koen Deforce, Yusuke Yokoyama, Sabine Schmidt, Helmut Bruckner, Marc De Batisz, Vanessa Mary An Heyvaert, QuakeRecNankai team
2. 発表標題	Historical Nankai-Suruga megathrust earthquakes recorded by tsunami and landslidedeposits on the Shirasuka coastal lowlands, Shizuoka Prefecture
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Laura Lamair, Aurelia Dominique Hubert-Ferrari, Shinya Yamamoto, Yusuke Yokoyama, Yosuke Miyairi, Ed Garrett, Osamu Fujiwara, Stephen Obrochta, Atsunori Nakamura, Marc De Batist, Vanessa M.A. Heyvaert, QuakeRecNankai Team
2. 発表標題	Paleoearthquakes recorded in the Fuji Five Lakes during the last ca. 6000 years (FujiFive Lakes, Japan)
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2018年大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	横山 祐典, 宮入 陽介, 阿瀬 貴博, 平林 頌子
2. 発表標題	シングルステージ加速器質量分析装置を用いた放射性炭素分析とその応用
3. 学会等名	日本質量分析学会・日本プロテオーム学会2018年合同大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	横山祐典
2. 発表標題	North Western Pacific Oceanography recorded in Porites coral skeleton
3. 学会等名	日豪サンゴ礁シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年	2017年

1 . 発表者名 Yokoyama, Y. Esat, T. Suga, H. Obrochta, S. and Ohkouchi, N.
2 . 発表標題 Heinrich events and sea level changes: records from uplifted coral terraces and marginal seas
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Christensen, B. Takayanagi, H. Petrick, B. Ishiwa, T. Henderiks, J. Groeneveld, J. Mamo, B. De Vleeschuwer, D. Auer, G. Deik, H. Fulthorpe, C. Gallagher, S. McHugh, C. Reuning, L. and Yokoyama, Y.
2 . 発表標題 Late Pleistocene Age Model for Site U1460, Perth Basin, SW Australian Shelf: Implications for Leeuwin Current History
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Kubota, K. Yokoyama, Y. Ishiwaka, T. Sagawa, T. Ikehara, M. and Yamazaki, T.
2 . 発表標題 Deglacial Western Equatorial Pacific pCO <sub>2</sub> reconstruction using Boron isotopes of planktonic foraminiferas
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Ishiwa, T. Yokoyama, Y. McHugh, C. Reuning, L. and Gallagher, S.
2 . 発表標題 Last Glacial Maximum to Holocene climate evolution controlled by sea-level change, Leeuwin Current, and Australian Monsoon in the Northwestern Australia
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 McHugh,C.Castaneda,J.Kominz,M.Gallagher,S.Gurnis,M.Ishiwa,T.Mamo,B.Henderiks,J.Christensen,B.Groeneveld,J.Yokoyama,Y.Mustaque,S.and Iqbal,F.
2 . 発表標題 Pleistocene arid and wet climatic variability: Imprint of tectonics and oceanographic events in the sediments of the SE Indian Ocean, Western Australia
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Pronthro,L..Yokoyama,Y.Simkins,L..Anderson,J..Majewski,W.Yamane,M.and Ohkouchi
2 . 発表標題 Marine evidence of a deconvolving Antarctic Ice Sheet during post-LGM retreat of the Ross Sea sector
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Reynolds,L.Simms,A.Rockwell,T..Yokoyama,Y.Miyairi,Y.and Hangsterfer,A.
2 . 発表標題 Evidence for Holocene coseismic subsidence during a non- plate boundary earthquake
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting (New Orleans, USA, 2017.2.3 Wed) poster ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Obrochta,S.Yokoyama,Y.Yoshimoto,M.Yamamoto,S.Miyairi,Y.Nagano,G.Nakamura,A.Tsunematsu,K.Lamair,L.Hubert-Ferrari,A.Heyaert,V.Heyaert,V.DeBatist,Fujiwara,O.and the QuakeRetNankai
2 . 発表標題 Mt.Fuji Holocene eruption history reconstructed from proximal lake sediments and high-density radiocarbon dating
3 . 学会等名 2017 American Geophysical Union Fall Meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yokoyama, Y.
2 . 発表標題 Holocene Sea level chang and Antarctic Ice Shelf retreats
3 . 学会等名 2017 5th PALSEA2 meeting (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yokoyama, Y. Miyairi, Y. Yamane, M. Horiuchi, K. Aze, T. Nakamura, A. Nagano, G. Sano, W. Matsuzaki, H. and Ando, Y.
2 . 発表標題 In-situ and meteoric $^{10}\text{Be}$ and $^{26}\text{Al}$ measurements: preparation and application at the University of Tokyo
3 . 学会等名 2017 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hirabayashi, S. Yokoyama, Y. Suzuki, A. Esat, T. Miyairi, Y. Aze, T. Siringan, F. and Maeda, Y.
2 . 発表標題 Local reservoir age variability in the Kuroshio region, the western Pacific
3 . 学会等名 2017 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yamane, M. Yokoyama, Y. Hirabayashi, S. Miyairi, Y. and Aze, T.
2 . 発表標題 Small- to ultra-small-scale radiocarbon measurements using newly installed AMS at the University of Tokyo
3 . 学会等名 2017 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Miyairi, Y. Yokoyama, Y. Ohkouchi, N. Ogawa, N. Matsuzaki, H. Kusuno, H. and Nagata, T.
2. 発表標題 Radiocarbon measurements for marine fish to understand their ecology
3. 学会等名 2017 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aze, T. Miyairi, Y. Yamane, M. Sawada, C. Ando, Y. Hirabayashi, S. Ishiwa, T. Sato, N. and?Yokoyama, Y.
2. 発表標題 A new single-stage AMS laboratory at the University of Tokyo
3. 学会等名 2017 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福與直人, 田啓邦, 横山祐典, Geoffrey Clark, Gベル智子, 河合淳
2. 発表標題 走査型SQUID顕微鏡を用いた鍾乳石の古地磁気測定を試み
3. 学会等名 第142回地球電磁気・地球惑星圏学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横山 祐典
2. 発表標題 "ケミストリー" で世界を変えよう
3. 学会等名 2017地球化学若手シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横山 祐典,川久保友太,平林頌子,アリバート シャンテール,鈴木淳,宮入陽介,
2. 発表標題 鹿児島喜界島のサンゴ 骨格の微量元素に記録された小氷期からの海洋環境情報
3. 学会等名 日本第四紀学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 畑中美沙希,横山 祐典,小川奈々子,宮入陽介,Geoffrey Clark,大河内直彦,
2. 発表標題 骨コラーゲンの同位体分析によるマダガスカル絶滅種の食性解析
3. 学会等名 日本第四紀学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮入陽介,石澤堯史,後藤和久,横山祐典,
2. 発表標題 泥炭試料のウイック?ルマッチング 法を用いた津波堆積物の高精度年代決定
3. 学会等名 日本第四紀学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 櫻本 晋洋,山崎 俊嗣,宮入 陽介,木元 克典,横山 祐典,
2. 発表標題 A relative paleointensity record of the last 3. m..from western equatorial Pacific and remanent magnetization lock-in depth
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮入 陽介, 横山 祐典, 渡邊 千夏子, 渡邊 良朗, 永田 俊,
2. 発表標題 炭素14をトレーサーとしたマイワシの回遊履歴解析
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山口 保彦, 野畑 重教, 川上 達也, 白井 厚太郎, 本多 健太郎, 宮入 陽介, 横山 祐典, 永田 俊,
2. 発表標題 炭素14分析によるサケの繁殖時の炭素源推定
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横山 祐典, 宮入 陽介, 松田 純佳, 松石 隆, 永田 俊
2. 発表標題 深海サンゴと造礁サンゴが示す過去60万年間の年代測定の問題点の解決法
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北村 晃寿, 三井 雄太, 宮入 陽介, 横山 祐典, 徳田 悠希
2. 発表標題 炭素14を用いたクジラ等海棲哺乳類の回遊履歴および生態情報の復元
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名	福與 直人,横山 祐典,ジェフリー クラーク,窪田 薫,宮入 陽介,杉原 奈央子,白井 厚太郎,樋口 富彦,宮島 利宏,
2. 発表標題	トンガ王国Tongatapu島で採取した貝殻と海水の地球化学分析と環境考古学への適用可能性,
3. 学会等名	2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	横山 祐典,Esat Tezer,平林 頌子,宮入 陽介
2. 発表標題	中部日本, 北部銭洲海嶺上に位置する伊豆諸島北部の後期完新世の隆起: 西暦1498年明応地震の波源域の含蓄
3. 学会等名	2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	尾崎 達也,横山 祐典,Purcell Anthony,Lambeck Kurt
2. 発表標題	氷河性海水準変動の地球物理モデルと地形・地質学的情報を組み合わせた長期の地殻上下変動量の復元について
3. 学会等名	2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名	石澤 堯史,後藤 和久,横山 祐典,宮入 陽介,沢田 近子
2. 発表標題	津波堆積物の高精度かつ効率的な放射性炭素年代推定法の提案
3. 学会等名	2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年	2017年

1. 発表者名 宮原 ひろ子,堀内 一穂,門叶 冬樹,森谷 透,横山 祐典,松崎 浩之,本山 秀明,
2. 発表標題 Precise dating of cosmic ray events in the 17th century found by the analysis of beryllium-10 content in Antarctic ice core
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石輪 健樹,横山 祐典,奥野 淳一,上原 克人,池原 実,オブラクタ スティーブン,
2. 発表標題 ボナバルト湾の海洋堆積物とglacial isostatic adjustmentモデルによる海洋酸素同位体ステージ2の海水準変動復元
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 オブラクタ スティーブン,ndr?n Thomas,Fazekas Szil?rd,Lougheed Bryan,Snowball Ian,横山 祐典,宮入 陽介,近藤 玲介,
2. 発表標題 Kotilainen Aarno, Hyttinen Outi, Fehr Annick, 不可能を可能に! :バルト海の最も深い海盆から得られた膨張コアの後期更新世~完新世年代決定の誤差解明,
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮原 ひろ子,堀内 一穂,門叶 冬樹,森谷 透,横山 祐典,松崎 浩之,本山 秀明,
2. 発表標題 Precise dating of cosmic ray events in the 17th century found by the analysis of beryllium-10 content in Antarctic ice core
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池原 実, 香月 興太, 山根 雅子, 横山 祐典,
2. 発表標題 氷期の南極温暖イベントに対応した南太平洋における海水拡大
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊藤 真裕子, 森 愛, 本郷 宙軌, 浅海 竜司, 宮入 陽介, 横山 祐典, 藤田 和彦,
2. 発表標題 星砂の磨耗度と放射性炭素年代に基づく瀬底島海浜堆積物の年代と堆積過程
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 畑中 美沙希, 横山 祐典, 小川 奈々子, 宮入 陽介, Geoffrey Clark, 大河内 直彦,
2. 発表標題 骨コラーゲンの同位体分析によるマダガスカル絶滅種の食性解析
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平林 頌子, 横山 祐典, 鈴木 淳, 宮入 陽介, 阿瀬 貴博,
2. 発表標題 サンゴ骨格を用いた高時間分解能放射性炭素濃度測定による西太平洋海洋環境復元
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長野 玄, 横山 祐典, オブラクタ スティーブン, 宮入 陽介, 吉本 充宏, 山本 真也,
2. 発表標題 高精度多点14C年代測定と富士五湖湖底堆積物を用いた過去 8000 年間の富士山噴火史復元
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平林 頌子, 横山 祐典, 鈴木 淳, 宮入 陽介, 阿瀬 貴博,
2. 発表標題 琉球列島におけるローカル海洋リザーバー年代の短期的変動
3. 学会等名 2017年度地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	大河内 直彦  (OHKOUCHI Naohiko)  (00281832)	国立研究開発法人海洋研究開発機構・生物地球化学研究分野・分野長   (82706)	
研究 分担者	O b r o c h t a S t e p h e n  (OBROCHTA Stephen)  (60752540)	秋田大学・国際資源学研究所・准教授   (11401)	